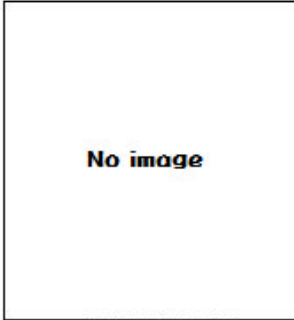


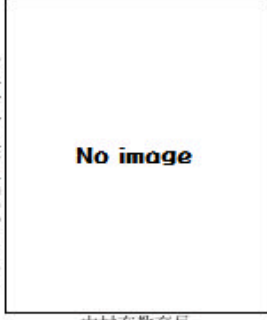
発行所
青森県高等学校・障害児
学校教職員組合
青森市横本1丁目2-25
教育会館 017(734)7287
編集発行人 酒田 孝
購読料一部20円は組合費
の中を含む

年度末・年度はじめには
支部・分会
で歓送迎会
を開催しま
しょう!

Eメール aokokyos@olive.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.geocities.jp/aokokyoso/> ブログ <http://plaza.rakuten.co.jp/samkyoso05/>



高教組・昨年度からエクセルによる勤務時間管理がは始まり、春から全校で義務付けられている。どのような状況か。教育長・この勤務時間について、エクセルで要するに自己申告。そのあと



文部科学省の緊急対策をうけて
国の提言が出て、タイムカードというものが強く打ち出されている。われわれとしてはエクセルの方式で全部到達したとは考えていない。例えばタイムカードとすればどういう形が一番やりやすいのか、また色々なものに活用できるのかと、色々なパターンを何校か試行してもらいたいと考えている。高教組・試行は来年度か。教育長・来年度に何校かやりたいし、前にもやればやりたい。年度途中からでも、ということはあるかもしれない。高教組・文部科学省の緊急対策を受

1月31日に高教組と中村教育長との統一要求書交渉が実施されました。議題は①長時間勤務問題、②臨時教職員問題、③パワハラの問題の3点でした。中村教育長は12月22日に出された文部科学大臣の緊急対策をうけて、29年度から数校に試験的にICタイムレコーダーを設置し運用していくことを表明しました。また、津軽地方の特別支援学校のパワハラに対する対応が遅れていることに関しては「大変申し訳なく思う」と謝罪しました。



統一要求書教育長交渉

ICタイムレコーダー試験導入

高教組・昨年度からエクセルによる勤務時間管理がは始まり、春から全校で義務付けられている。どのような状況か。教育長・この勤務時間について、エクセルで要するに自己申告。そのあと

「空白の1日」は来年度も継続
高教組・臨時講師の辞令の「空白の1日」について。一昨年総務省から出された7・4通知では空白を置く必要はないとなっていたが、文部科学省は全教との12月11日の交渉の中で、「仕事があるにもかかわらず空白期間を設定して仕事をさせるといのは明白に違法なのでその点は是正していく」と回答した。神奈川県は来年度やめる。(青森県は)なぜ今年も空白

「空白の1日」は来年度も継続
高教組・臨時講師の辞令の「空白の1日」について。一昨年総務省から出された7・4通知では空白を置く必要はないとなっていたが、文部科学省は全教との12月11日の交渉の中で、「仕事があるにもかかわらず空白期間を設定して仕事をさせるといのは明白に違法なのでその点は是正していく」と回答した。神奈川県は来年度やめる。(青森県は)なぜ今年も空白

坂道の風

昨年東京にある「JICA地球ひろば」を訪ね、SDGs(国連が、2016年から2030年までに世界が取り組むべき持続可能な開発のための17の目標)の展示を見学した。その第1目標は「貧困をなくそう」▼「日本で貧困?関係ない」と思う人もいるだろう。しかし、日本の子どもの貧困率は約16%、日本の相対的貧困率はOECDの平均を上回り、6人に1人は貧困ラインの下にいる。ひとり親世帯に関していえば貧困率は約55%まで跳ね上がる▼格差は社会を分断し、親の貧困が子どもに連鎖する。経済指標は改善されつつあると伝えられているが、私たちは景気の回復を実感できていない。ニューブスは大学奨学金返済で自己破産が約1.5万人と伝わる。格差は拡大し、日本でも貧困が信じられないスピードで進行している。SDGsの目標は、決して開発途上国だけの問題ではない。私たち日本人も取り組まなければならない大きな課題なのである。(アンギン)

対話と共同を広げ、職場・地域から全教運動の前進を!

～全教第35回定期大会～

2月17日(土)～18日(日)、東京都内において、全教(全日本教職員組合)第35回定期大会が開催されました。全教加盟組織、各専門部すべてから代議員が出席(52組織144名)し、今年度の総括と来年度の運動方針等を採決しました。青森高教組からは2名が参加し、酒田執行委員長は議長も行いました。

No image

活発な討論を繰り広げた全教定期大会

討論は、全体で65本の発言がありました。憲法を守る取り組みについては、学校現場でこのことを話すことの難しさはあるが、「教え子を再び戦場に送らない」のスローガンに立ち返り、地道で真摯な取り組みが行われていることや、平和への強い思いを共有する「3000万署名」の取り組みをやり遂げることへの決意が語られました。

様々な場面で教育がゆがめられている実態も語られました。子どもの実態を見ない現在の教育施策は矛盾を生むことや、それを打ち破るための「父母との共同」や「語り合い学びあい」が必要なことや、全国教育署名等で政府に訴えることが求められることを確認しました。

最も発言が多かったのは、長時間勤務、臨時講師の「空白の一日」等をめぐる「生活と権利」についてでした。私たちの要求と世論が政府を動かしていることが報告されました。さらに教員が笑顔で働くことが子どものためになることを改めて確認し、教員増や部活の在り方など世論と一致する要求をすることが求め

18春闘勝利を目指し、連帯の輪を広げよう!

～春闘勝利決起集会～

られることを確認しました。「空白の一日」は神戸市、神奈川県、秋田県で解消の動きがあります。他県の取り組みに学び、本県でも解消に向けて取り組むチャンスであることを確信しました。

組合組織の強化にあたっては、青年教職員の発言がたくさんありました。青年の活躍が組織を活性化させることを確認しました。大会は、提案されたすべての議案が承認され、特別決議、大会アピールが採択され、無事に終了しました。全教の方向性を受け、青森高教組も力強く歩んでいく思いを強くしました。

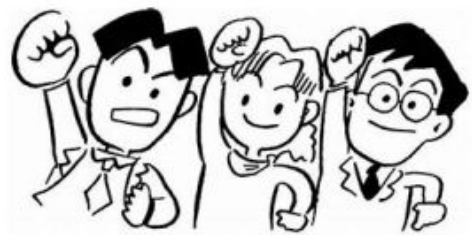
No image

闘いの展望を語る全労連岩崎祐治副議長

青森県春闘共闘会議 2018年春闘勝利決起集会は2月17日(土)アピオ青森で行われました。春闘共闘会議の奥村栄議長の挨拶のあと、全労連の岩橋祐治副議長による18春闘の意義、重点要求と課題、たたかいたい展望について

の講演がありました。講演は安倍9条改憲阻止、長時間労働の是正、同一労働同一賃金の実現、そしてすべての労働者の賃金の底上げと改善についてです。医労連と県教組から決意表明があり、最後に「8時間働けば人間らしく暮らすことができる社会の実現」「安倍9条改憲・労働法制改悪NO!」「賃上げと安定雇用で地域活性化」の2018春闘アピールが採択されました。

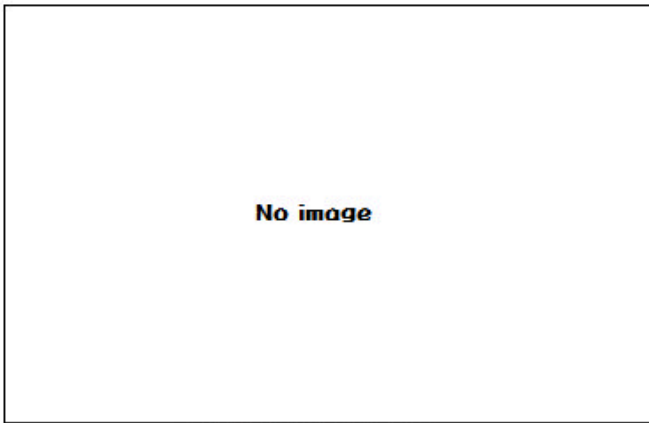
国民の生活と権利、平和と民主主義、立憲主義と個人の尊厳を守るためひとりひとりが要求を抱えともに声をあげ、国民春闘をたたかうことが呼びかけられました。



国や組織を超えた教職員組合活動の展望を学び合おう!

国際シンポジウム

2月19日(月)、東京で「教員への統制や管理強化に対抗する運動の発展を目指す国際シンポジウム」が開催されました。海外から、イタリア労働総同盟教職員組合クラウディオ・フランキ国際担当書記、ポルトガル全国教員組合マヌエラ・メンドーサ国際関係部長、マサチューセッツ州教員組合バーバラ・マデロ一二委員長、日本から、全教小畑雅子書記長がパネリストとして、それぞれの国での運動について発言しました。

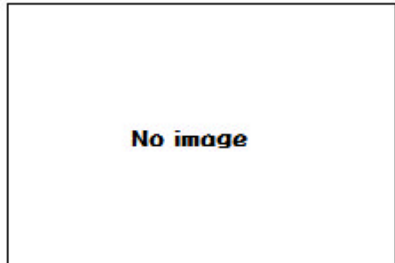


各国の運動を報告する海外代表

新自由主義的な教育改革に対して、子どもたちの豊かな発達を保障し、教員の生活を守る戦いを進めるといふことでは共通点がありました。マサチューセッツからは、現場の組合員の政策決定機関(コーカス)を作り、民主的な組

織として共に戦う仲間を増やしていることが報告されました。ポルトガルからは、緊縮財政下でも労働組合として正当な主張をストライキや訴訟を通して頻繁に社会に訴えかけたことで、後の政権交代をある意味で導き、その後の政権の方向に影響をあたえることが報告されました。イタリアからは、9年間の闘いにおいて、多くは敗北であったが、勝ち取ったものもあることが報告されました。日本からは、教育の目的が「世界で一番企業が活動しやすい国」に戦争する国「つくりを進めるための人材育成にすりかえられ、そのために教職員への管理と統制が強まっていることが報告されました。

国際的に新自由主義に基づく「資本の論理」が教育をゆがめており、それに



国際会議なので同時通訳もありました

対して闘っている仲間が海外にもたくさんいることに励まされました。質の高い平等な教育をどう提供する

をどう保証するか、語り合

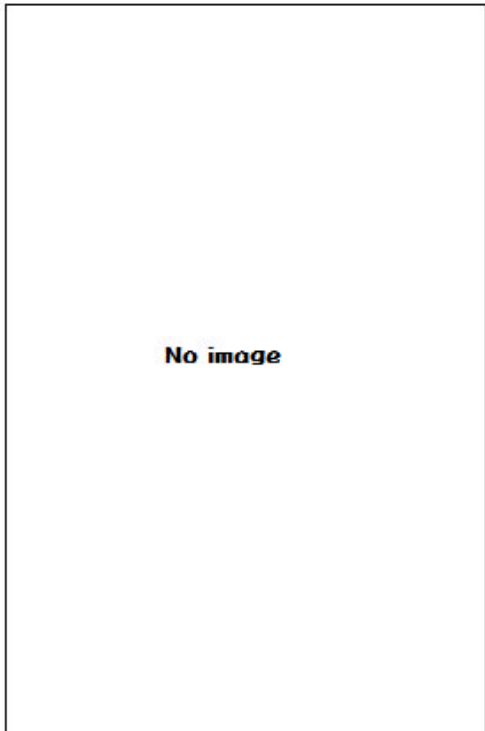
生徒とつながる・つなげる学びを!

青年部学習会&高生研究集会

2月10日(土)〜11日(日)、青年部学習会兼青森高生研第96回研究会を青森教育会館で行いました。初日は①びらいち(悩みをともに話し合い意見を交わし合うワークショップ)と②講演。二日目は初任2年目で高校2年生を担当するホーム

ルーム担任の実践記録をもとに討議。講演は「対話的指導ってなんだろう」という題目で埼玉の高原史朗先生(中学校教師)にしてい

い!と心から思えた講演だった。(20代中学校)「クラス運営で自分が抱える問題に対する解決策がたくさんあり、目からウロコだった。」(30代高校)「強い指導ができなく生徒と関わるのを避けていたが、今までの指導で良かったと思えた。講演を聞いてまたやり直せそうだ」(20代中学校)。20代30代の若い先生だけでなく、教師として生



講演をする高原史郎氏

みんなで学び、 みんなで合格!

2018年度も「虎の穴」開講

No image

昨年の様子。この中から合格者ができました。

次試験対策として、クレベリン・Y Gテストの対策も行い、「小論文」「個人面接」「模擬授業」の演習、さらに希望者には実技に関する対策もできる限り行います。

ただ単に合格することだけを目的としているわけではなく、「みんなが学び、みんなが合格」を合言葉に、お互いに励まし合い、磨き合おうと努めています。

いよいよ2018年度、組合員限定教員採用試験対策講座「虎の穴」は13年目に入ります。これまで百数十名が卒業し青森県内にとどまらず、全国各地で活躍しています。

前年度の合格者の体験に学ぶことからスタートして、「願書」の書き方に始まり、「教職教養・一般教養」の学科の重点を効率的に学び、さらに一次試験の肝である「集団討論」の演習には時間をかけて着実に力をつけていきます。2

合の学習会をめざしていただきます。よき教師となるための実践講座や教育の集いなどにも積極的に参加します。毎回、参加者による交流を図り、合宿も数回企画し懇親会も併せて行います。小中学校の県教組と共催しており、小中学校の教諭を目指すみなさんとも一緒に学びます。

本来、教育という仕事に「臨時」という概念はありません。高教組は「教育に臨時はない」というスローガンのもと、これまで教諭と同じ職責を果たして頑張っている臨時講師のみなさんを応援するために様々な待遇改善を県に要求して勝ち取ってきました。赴任旅費の支給、年休の年度を超えた繰り越し(東北で初)、年度末に保険証を返さなくてもよいように社会保障の年金と医療の継続を県に認めさせました。さらに、3月31日の辞令の「空白の一日」をなくすよう要求しています。これが実現すれば、臨時講師のみならずも公立学校共済組合に加入でき、夏のボーナスも満額支給されるようになります。また、給料の頭打ちも法的根拠がなく不当なものであるため、撤廃を求めています。

全国では神奈川県、秋田県、神戸市が来年度「空白の一日」を撤廃する予定です。私たち青森県もぜひ続いて改善できるように全力で高教組は取り組んでいきます。青森県内に働く臨時講師のみなさん、高教組に入って自らの待遇改善を進めさせることに力を貸してください。そして、ともに学び、よき教師と教員採用試験の合格をめざしていきましょう。

お詫びと訂正

2月号に掲載した「パワハラ」の記事で、一部不適切な表現がありました。パワハラ行為の事実を伝えたいということ、その表現を使いましたが、不快感を持たれた方もいらっしゃるようですので、お詫び申し上げます。
また、1月号で「再任用者は年休の繰り越しができない」と表記しましたが、年休の繰り越しは可能でしたので、訂正します。

教育厚生会からのお知らせ 奨学生募集

- 1.出願資格
本会会員又は県内に5年以上在住者の子弟で、次のすべてに該当する者
(1)大学又は大学院に入学又は在学する者
※通信教育課程及び短期大学は除く
(2)学資の負担が困難と認められる者
(3)健康上修学に支障がなく学業優秀な者
・大学入学者は、卒業高等学校の全履修科目評定が中以上、又は5段階法においては平均3.0以上とする
・大学又は大学院在学者は、当該年次において必要な所定の単位を取得しているものとする
※既に本会の奨学生の場合は出願できません。
- 2.区分
第1種奨学金…100万円 第2種奨学金…80万円
※第1種・第2種ともに在学期間をとおし1回のみのお貸与となります。
- 3.出願期間
2018年3月1日～4月15日(厳守)
皆様に広くご利用いただけるよう、**貸与時の連帯保証人の条件を緩和**しております。詳しくは、本会ホームページをご覧ください。
奨学生募集要項及び選考願書もホームページからダウンロードできます。



出願を
お待ちしております

<お申込み・お問合せ>
一般財団法人 青森県教育厚生会
030-0823 青森市橋本一丁目2-25
TEL(017)721-1313

青森県教育厚生会 検索

全教共済

2017年 キャンペーン

職場賞進呈!

- 教職員の助け合い『総合共済』加入
または
自然災害も補償する『火災共済』加入
または
教職員の身分を守る『自動車保険』お見積もり

【お菓子セット2000円相当】
職場タイムに皆さんをお呼びあげたい

職場お二人で キャンペーン期間 2018年3月15日まで